

Little eArth Corporation

株式会社ラック

第13期 報告書 2019.4.1~2020.3.31

—ネットワーク社会の進展により、
時間的にも空間的にも地球は小さくなっていく—

証券コード：3857

事業紹介

当社は、他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと、独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供しており、高い競争力を有する独自のサービスや大手企業を中心とした確固たる顧客基盤を有していることを強みとしています。

お客様の事業課題を解決する最適なソリューションの提供に向け、製販一体で対応する事業部制とし、進化を続けています。セキュリティを切り口に両サービスを融合し、お客様のITによる変革「デジタルトランスフォーメーション」の実現に貢献します。

お客様



事業課題のIT提案

SSS

セキュリティソリューションサービス

他社に先駆けサイバーセキュリティ
サービスを展開

セキュリティエンジニアによる
専門的なサービスを提供

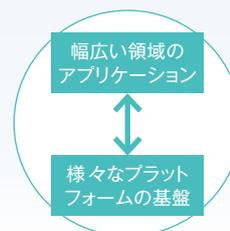


SIS

システムインテグレーションサービス

金融機関や官公庁向けシステム開発で培った
技術力で幅広い領域のシステム開発

基盤からアプリケーションの開発まで
一貫したSIサービスを提供



両事業の営業・エンジニアが支援し合い成長

「進化と成長」に向けた挑戦を 続けていきます



劇的に変化する環境下で事業を継続

新型コロナウイルス感染症の急速な拡大により、社会活動が制約される状況へと一変し、企業活動においても、「密閉・密集・密接」のいわゆる3密を避け、在宅勤務を中心とする働き方へと一気に変容しました。

当社は、早期からテレワーク（在宅勤務）やリモートワークを試行しており、2019年7月に働き方改革の一環として全社員を対象にOffice 365（マイクロソフト社のクラウド業務システム）を導入し活用していたことで、3月からの一斉在宅勤務への移行も、セキュリティを考慮したうえで大きな混乱もなく実施することができました。社会が必ず変容すると考慮し進めた先行投資がまさに実を結んでおり、この経験は今後の事業推進にも具体的に活かされるものと考えています。

企業経営は劇的に変化し、まさしく黒船やマッকারサーに続く変革である「ゲームチェンジ」の到来と言えます。「デジタルトランスフォーメーション」に向けたIT投資、それを支えるサイバーセキュリティへの要請は、従来にも増して喫緊の課題として高まっていくものと考えています。

経営基盤の強化や事業体制強化に注力

このような状況のなか、2020年3月期の業績は、セキュリティ事業、SI事業とも伸長し増収となったものの、利益面では経営基盤強化のための社内IT投資の推進、東陽町オフィスの開設など

業績

業績ハイライト

*1 業績予想は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しない前提による予想値です。
*2 株式会社日本貿易保険との契約の取り扱いについては交渉継続中のため業績予想には含んでいません。



の投資を行ったこと、加えてセキュリティ事業で人員増強など体制強化のための先行投資を実施したことにより減益となりました。なお、年間配当につきましては、予定通り前期より2円増配の24円とさせていただきます。

セキュリティ事業で新規サービスが想定ほど拡大できず、またセキュリティ診断の需要と供給にミスマッチがあったこと、SI事業において追加対応が必要な案件が長期化し新規案件の獲得が遅れたことなどによって、期初業績予想は未達となりました。第4四半期は運営面で一定の成果をあげましたが、開発サービスにおけるプロジェクトマネジメントの再強化とモノづくり力の底上げは重点課題と捉えています。

働き方の変容が進むなかビジネスを拡大

在宅勤務やオンライン会議の定着といった不可逆的な働き方の変容が一気に進むと予想され、それに伴い、セキュリティの重要性は一層高まるものと考えています。

当社の主要な顧客層である大手企業グループ向けには、クラウドにも対応した高度なセキュリティ対策をより進化させ提供していきます。中堅・中小企業向けには、このような大手企業グループで得られたノウハウを活用して低価格のツールやパッケージとして提供するとともに、戦略的パートナーと連携することでビジネスの拡大を狙います。

SI事業では、クラウド基盤のシステム開発案件の拡大に向け、TIS株式会社との協業を一層深化させるとともにクラウドエンジニアの育成・確保に取り組みます。また働き方が変容するなか、PCなどの端末をリモート接続して遠隔操作できるTeamViewerなど、在宅勤務やリモートワークに対応するキラーアプリケーションを起点に、セキュリティ事業と開発サービスを組み合わせたビジネスも展開していきます。

さらに、システム開発の環境変化への対応力と課題解決力を一層強化するため、アジャイル開発センターとソフトウェアエンジニアリングセンターという「2つの道場」でエンジニアの教育・育成を推進していきます。

経営と執行を分離しガバナンス体制を強化

当社は持続的成長の実現に向けて、今後も進化し続けます。次の世代を見据え、より一層ガバナンスの効いた経営体制とするために、経営と執行を分離し、業務権限を従来の管掌取締役から執行役員に委譲するとともに執行責任を明確にした新たな執行役員制度に変更しました。さらに社外取締役を従来の2名から4名へと増やし、監視・監督機能の強化もあわせて行っています。

2021年3月期の通期業績予想は、セキュリティ事業、SI事業ともにサービス売上を中心に伸長させることで増収増益を予想していますが、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で見切ることが困難なことから、これから新たに発生する影響は考慮しない前提としています。

私たちはこれから社会変容が前提の時代を歩んでいくことになります。そうした環境だからこそ、企業理念にあるように、進化し続けることで成長し、社会にとってなくてはならない存在を目指していけるよう、セキュリティ事業とSI事業の両輪で国の未来を支える存在となるための挑戦を続けていきます。

株主の皆様におかれましては、中長期的な視点でご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

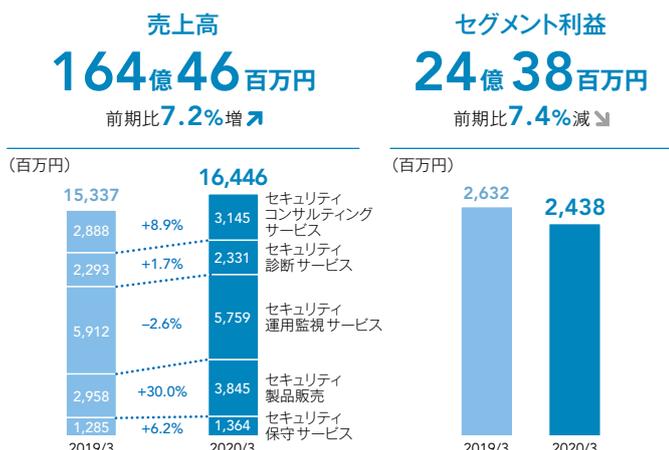
代表取締役社長

西本逸郎

セグメント別概況

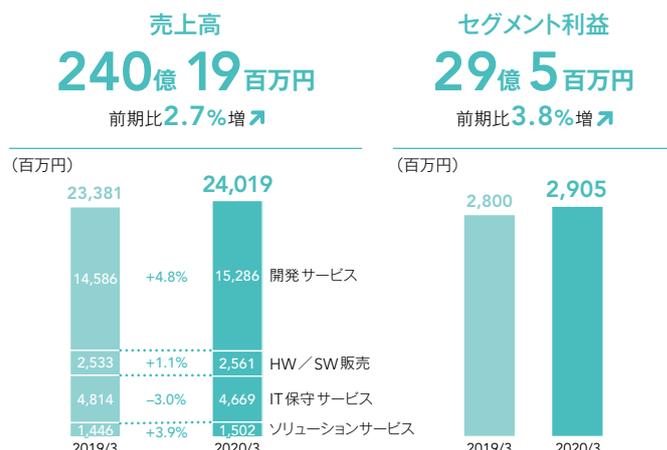
SSS 事業

製品販売の伸長により増収
先行投資や減価償却費の増加等により減益



SIS 事業

主軸の開発サービスが拡大したことにより増収増益



会社情報

会社概要 (2020年3月31日現在)

商号 株式会社ラック
英文名 LAC Co., Ltd.
所在地 〒102-0093
東京都千代田区平河町2丁目16番1号
平河町森タワー
設立 2007年10月1日
資本金 10億円
従業員数 連結：2,167名
(SSS事業：829名、SIS事業：1,141名、管理部門：197名)
個別：1,525名
※連結・個別ともに契約社員含む

役員 (2020年6月19日現在)

取締役会長 高梨 輝彦
代表取締役社長 西本 逸郎
取締役 菅 雅道 船引 裕司 土屋 奈生
社外取締役 西川 徹矢 村井 純 渡辺 樹一
中谷 昇
常勤監査役 伊藤 信博
社外監査役 石原 康人 蜂屋 浩一

株式情報 (2020年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株
発行済株式の総数 26,683,120株
株主数 14,831名

大株主

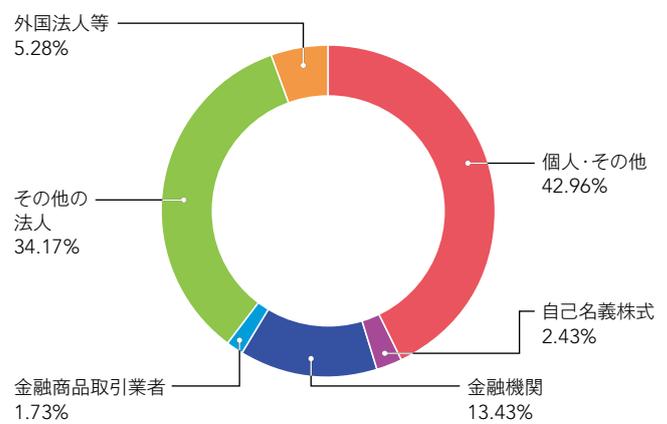
| | 所有株式数 (株) | 所有比率 (%) |
|-----------------------------|--------------|-------------|
| 有限会社コスモス | 6,889,800 | 25.82 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,911,100 | 10.90 |
| KDDI株式会社 | 1,414,200 | 5.29 |
| ラック従業員持株会 | 888,610 | 3.42 |
| 三柴 照和 | 690,000 | 2.58 |
| 株式会社ベネッセホールディングス | 500,000 | 1.87 |
| 資産管理 サービス信託銀行株式会社(信託E口) | 476,300 | 1.78 |
| 高梨 輝彦 | 265,900 | 0.99 |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL | 208,480 | 0.78 |
| 本多 一成 | 171,840 | 0.64 |

※自己株式は、647,433株ですが、議決権がないため上位10名までの大株主からは除外しております。
※有限会社コスモスは、KDDI株式会社の100%子会社であります。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町一丁目1番
Tel: 0120-232-711 (通話料無料)
上場市場 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載 URL <https://www.lac.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない
事故、その他のやむを得ない事由が生じた
ときは、日本経済新聞に公告いたします。)

所有者別株式分布状況



株式事務手続き

1. 当社株式に関する以下のお手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

| | | |
|---------|-----------------|----------------|
| 住所変更 | 氏名変更 | 相続 |
| 配当金振込指定 | 株式異動状況等 証明発行 | 単元未満の 買増・買取 |

など

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、株主名簿管理人連絡先へお問合せください。



お問合せ

経営企画部 CC・IR室

Tel: 03-6757-0107 / E-mail: ir@lac.co.jp

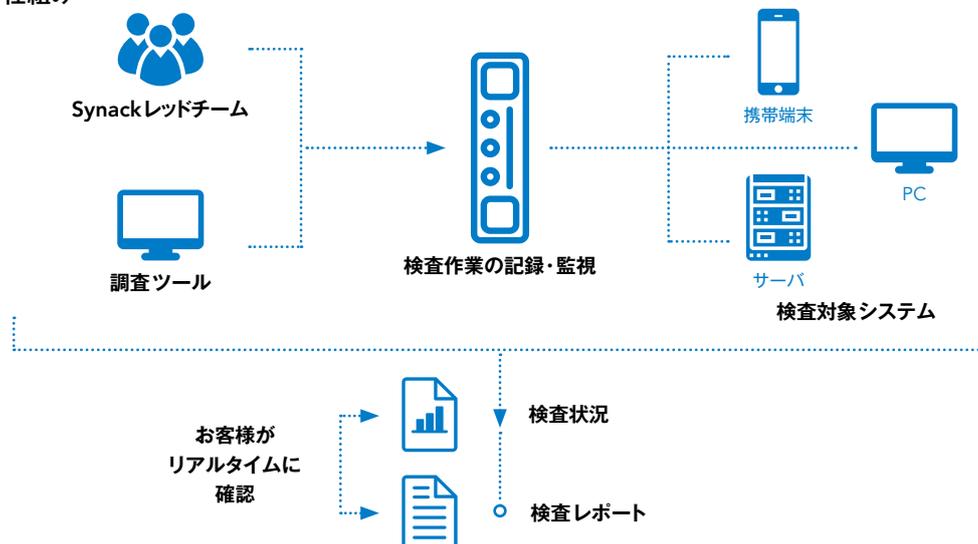
当社ホームページでは、IR情報のほか、自社メディア「LAC WATCH」において、最新のセキュリティ情報やラックの取り組みを発信しています。是非ご覧ください。 <https://www.lac.co.jp/>

合併会社「レッドチーム・テクノロジーズ」を設立

株式会社デジタルハーツホールディングスとの間で、ペネトレーション(侵入)テストを行う合併会社「株式会社レッドチーム・テクノロジーズ」を設立しました。

同社が提供するものは、世界有数のホワイトハッカーを活用した米国 Synack 社のクラウドソースのペネトレーションテストサービスです。ペネトレーションテストは通常1~2カ月の期間が必要であり、また知見の高いエンジニアが必要なため、多くの案件を受けられないことが課題でした。合併会社の設立により、Synack 社が契約する世界65カ国、1,500名超のエンジニアを活用でき、サイバーセキュリティを経営課題と捉える大手金融機関や大手流通企業、決済事業者等の企業に、従来より低価格・短納期で対応することが可能となります。

Synack サービスの仕組み



ラックは強みであるセキュリティを軸に、これからも合併会社設立などを含め他社との協業によるビジネス拡大を目指していきます。

| | |
|------|--|
| 会社名 | 株式会社レッドチーム・テクノロジーズ |
| 所在地 | 東京都新宿区西新宿 3丁目 20番 2号 |
| 代表者 | 代表取締役 岡田 卓也 |
| 事業概要 | ホワイトハッカーサービスの提供および技術支援等 |
| 資本金 | 40百万円 |
| 設立 | 2019年 11月 |
| 出資比率 | 株式会社デジタルハーツホールディングス：60% 株式会社ラック：40% |

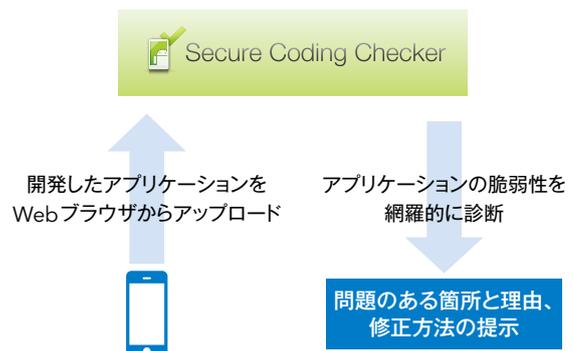
ソニーグループ会社より「Secure Coding Checker」の資産を譲受

スマートフォンのAndroidアプリケーションの脆弱性を発見し、原因と対策を提示する機能を持つ「Secure Coding Checker」をソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社より資産譲受し、2020年4月よりサービスの提供を開始しました。

この検査ツールでは、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会が公開するガイドに100%準拠した脆弱性診断を行うことができます。開発したアプリをWebブラウザからアップロードするだけの操作で網羅的な診断が可能であり、問題のある箇所と理由の表示とともに、修正方法を簡単に素早く知ることができるのが特徴です。開発完了時に診断し多数の脆弱性が見つかった場合、サービス開始に影響を生じるリスクがありますが、開発中の段階から検査ツールを活用することで、直前での混乱を防ぐことができます。

当社は今後とも、企業内での迅速なセキュリティ診断が可能な診断内製化サービスなどとあわせ、豊富なサービスラインアップにより、多様な診断ニーズに応えていきます。

Androidアプリケーション脆弱性診断



「すごうで」史上最年少の若手エンジニアを支援

若者ならではの柔軟な発想を大切に、才能の開花をバックアップする目的で若手人材育成支援の取り組みを体系化したのが、ITスーパーエンジニア・サポートプログラム「すごうで」です。支援対象者には、ラックのエンジニアが技術面を1年間サポートし、最大100万円まで活動費用を支援します。

2019年度の支援者は、決定当時で小学生6年生と「すごうで」史上最年少となった二ノ方 理仁(にのかた りひと)さんです。分散ネットワーク上で動作する「小さく、簡単で、速い」プログラミング言語を開発することを目標としたことに共感し支援を始めました。

コミュニケーションも開発状況の確認も日常はオンラインで行いながら、直接のミーティングも月に1度実施しました。二ノ方さんは、中学一年生になり慣れない学校生活との両立に苦労したようですが、強い意志を持って開発にあたり、また当社のエンジニアやすごうで事務局のメンバーが綿密に相談に乗り、軌道修正を加えながら、ユニークなプログラミング基盤を作り上げることに成功しました。

支援の終盤になった頃に開催された、高校生も参加する情報処理学会全国大会「中高生情報学研究コンテスト」では、中学1年



2019年度に支援した二ノ方さん

生ながら中高生研究賞優秀賞をみごと受賞。IT分野での将来の活躍を期待しています。

「すごうで」は、これまで7名、1チームの若者を支援しており、なかには支援後に新たな切り口でビジネスを始めた方もいます。エンジニアが支援者と直接触れ合い、知識や経験を踏まえて指導することにより、着実に若者の成長につなげることで社会に貢献していくことを狙いとしています。ラックは今後も、将来のIT社会を担う若者の育成支援を続けていきます。

全従業員を対象にテレワークを実施

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と従業員や関係者の安全確保のため、2020年3月27日より、全従業員を対象にテレワーク(在宅勤務)を開始しました。

当社は、柔軟な働き方を目指した社内IT変革の一環として、メールやチャット、ビデオ会議などのアプリケーションがクラウド上で利用できる「Office 365」を、2019年7月に全社一斉導入しています。社外であっても社内と同じシステム環境で業務を行えるようになり、円滑に在宅勤務へと切り替えることができました。日常の会話はチャットツールを利用し、またこれまで関係者が集まり会議室などで実施していたミーティングもビデオ会議機能を活用して行うなど、十分な社内コミュニケーションを取ることができています。

加えて、セキュリティ上の関係により外部に持ち出せないPCは、自社でソリューション提供しているリモート接続ツール「TeamViewer」を活用し、会社に設置したまま自宅から遠隔操作し業務を推進しています。このような環境整備をもとに、在宅勤務の期間においても、セキュリティ事業、SI事業ともにビジネスを継続することができました。

今後も、社員がより多様で柔軟な働き方を実現できるよう、「働きがい」を追求した働き方改革を積極的に進めていきます。

Office 365の主な機能



TeamViewerの活用

